

公共交通軸の形成に向けた取組

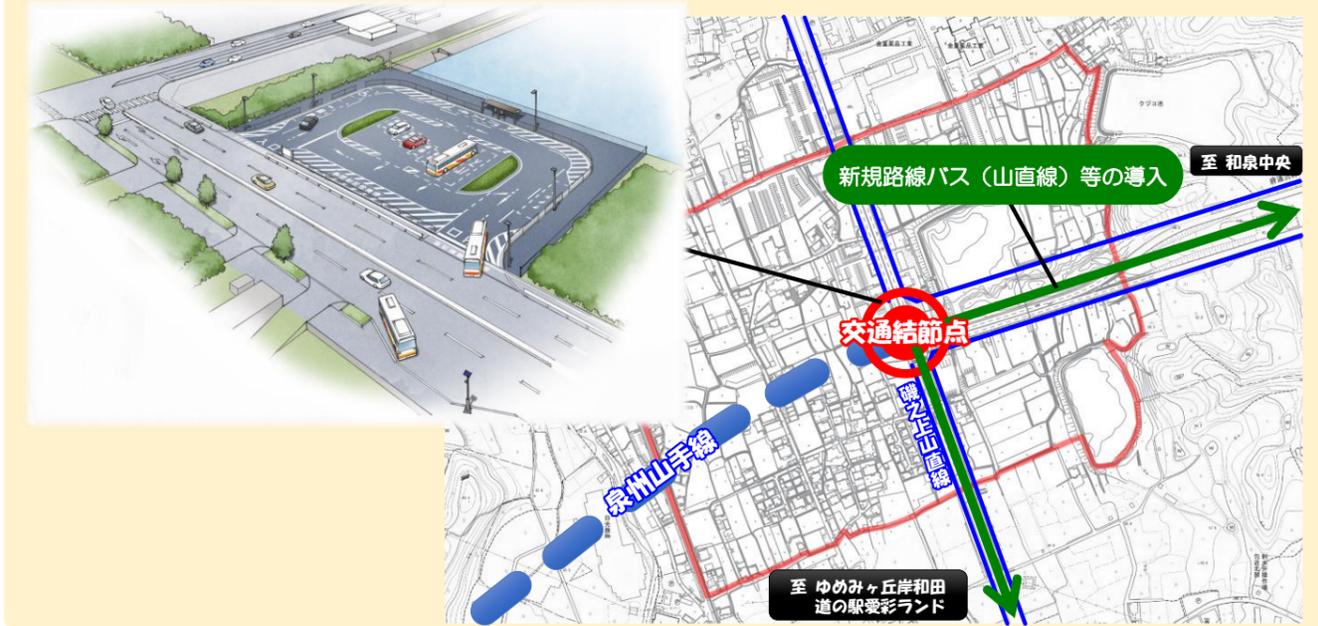
泉州山手線と沿道まちづくり手法の検討（ウラ面参照）と並行して、岸和田市では「より便利」、「より暮らしやすい」まちを実現していくために、第一段階として新しく拠点となる山直東地区で、バスなどの公共交通を充実させるなど、より魅力を高める公共交通軸の形成に向けた取組を行っています。具体的には、和泉中央駅と道の駅愛彩ランドを結ぶ路線バスの開通をはじめ、将来的には、関西国際空港を結ぶリムジンバス等、大阪・堺と空港を結ぶ軸として、通勤・通学等の利用を想定しています。

<公共交通軸のイメージ>

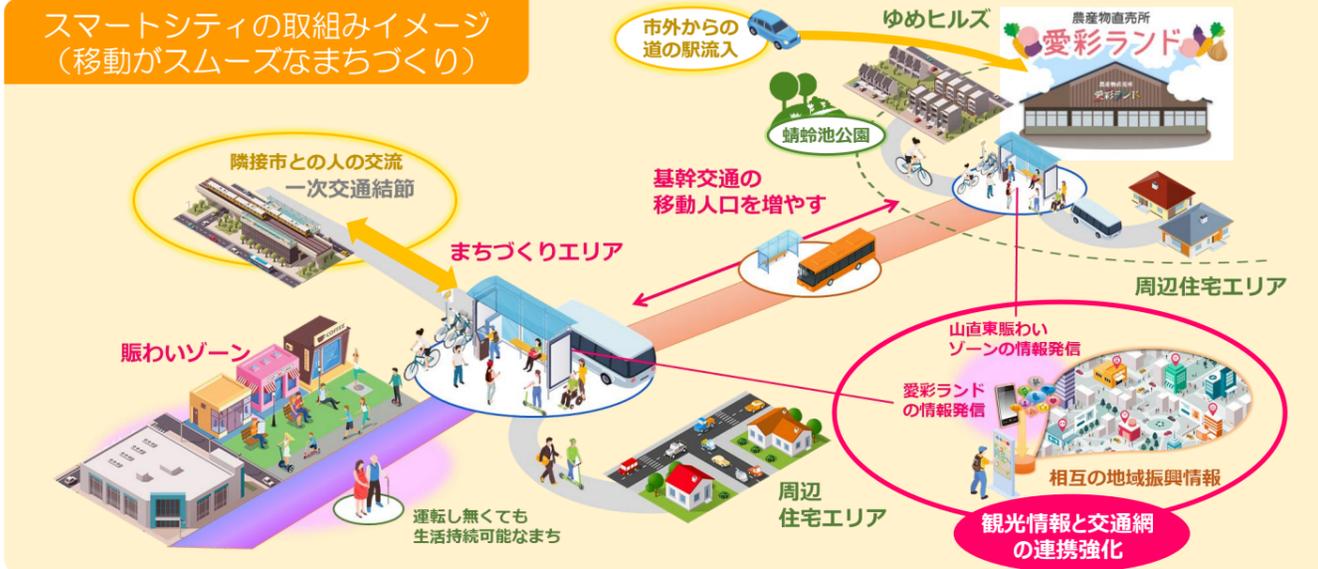


<新たな拠点 山直東交通広場>

山直東 交通広場



スマートシティの取組イメージ（移動がスムーズなまちづくり）



やまだい 東

岸和田市100周年記念事業

泉州山手 未来への懸け橋 プロジェクト

～ 次の100年へ、新たな拠点を作ります。～

岸和田市制100周年である令和4年度に“山直東交通広場”が完成し、路線バス“山直線”の運行が開始されました。今後も、スマートシティの取組を通じて、公共交通を中心とした移動がスムーズなまちづくりを目指します。

<問合せ先>

(公共交通に関する事) 交通まちづくり課
TEL:072-423-9656 / FAX:072-423-2286

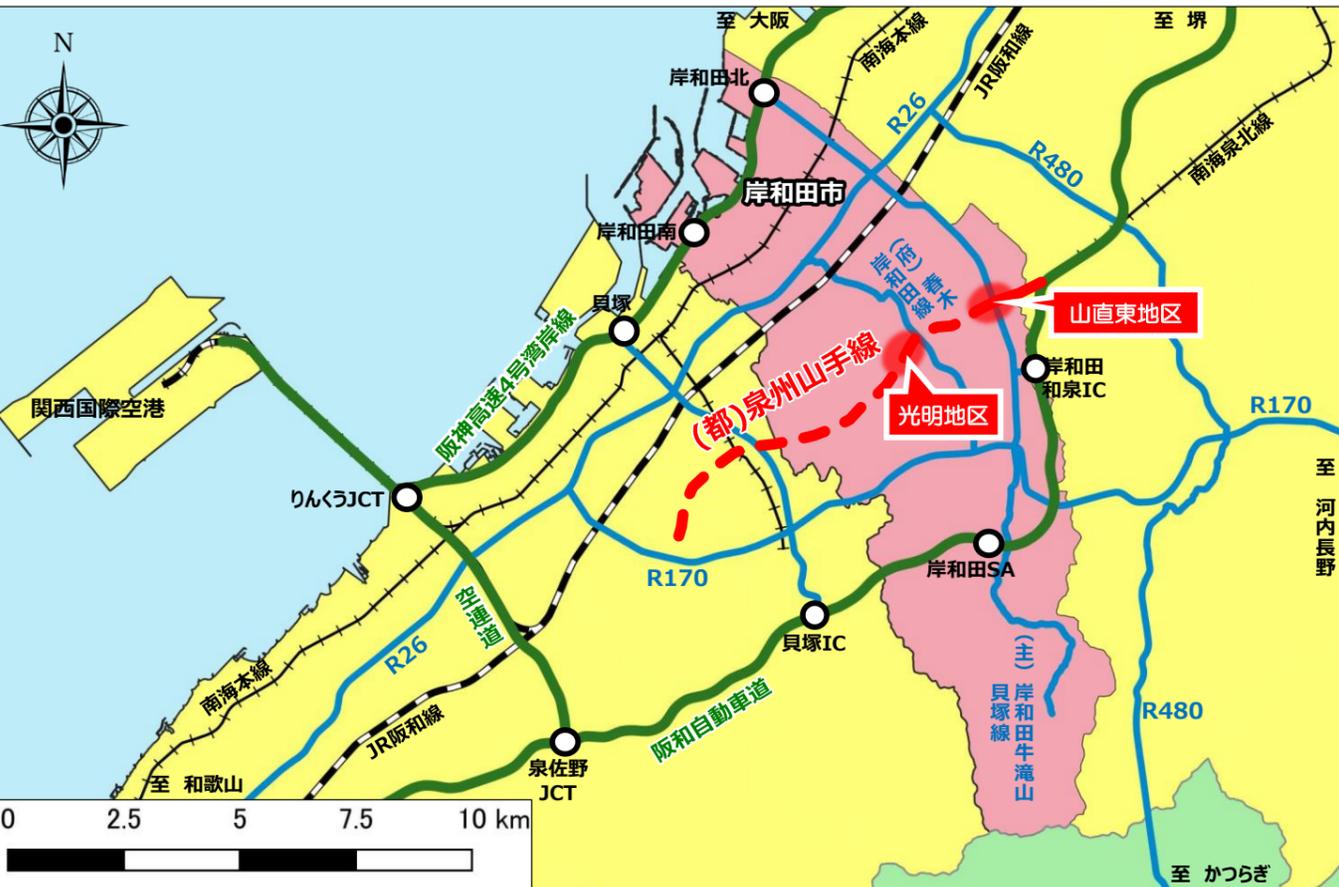
(その他まちづくりに関すること) 都市整備課
TEL:072-447-6526 / FAX:072-437-9171



都市計画道路 泉州山手線のいま

都市計画道路泉州山手線は、大阪都心部と関西国際空港を繋ぐ泉州地域の丘陵部における広域幹線であり、泉州地域のみならず南大阪の魅力を高める新たな交通の軸として計画されている道路です。また、南海トラフ地震や台風等の災害に備え、沿岸部の交通の軸とともに、大阪都市圏の安全・安心を高める丘陵部の交通の軸としても計画されている路線でもあります。

そのうち、岸和田市と和泉市の境界部分から熊取町の国道170号までの区間について、大阪府による事業化が予定されています。岸和田市の区間では和泉市境から岸和田牛滝山貝塚線（[都]磯之上山直線）を經由して、春木岸和田線（[都]岸和田中央線）までの区間が、先行して事業実施する工区（山直工区）となっており、沿道のまちづくりの取組みと合わせて整備が進められる予定です。

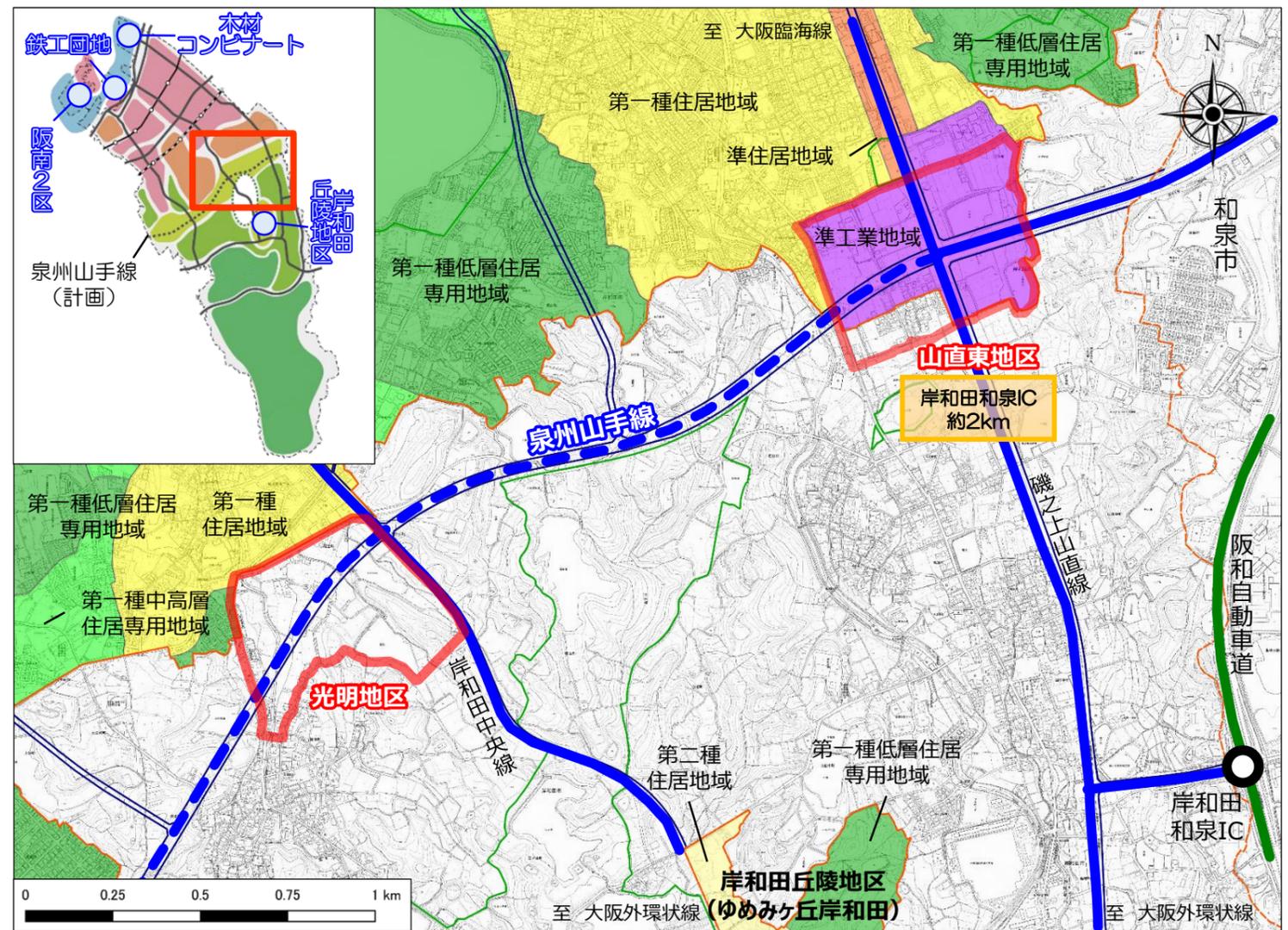


航空写真と山直工区



泉州山手線沿道のまちづくり

泉州山手線沿道では、地域の活性化につながる計画的なまちづくりに取り組む必要があることから、「泉州山手線沿道のまちづくりの方針」を策定し、山直東・光明地区で地元住民の方とまちづくり手法について検討しています。特に、山直東地区では「山直東まちづくり研究会」により「まちづくり基本構想及び基本計画」が策定され、事業化検討パートナー及び業務代行予定者の「(株)フジタ」と、土地区画整理事業も含めた具体的な取組みを進めています。



基本構想図(案)



※基本構想図の内容は、あくまで現段階のイメージです 出典:岸和田市山直東地区まちづくり基本構想及び基本計画

